

おたんじょうびおめでとう!

子どもたちが生まれた大切な日をお祝いする誕生会。昼食は、主食もそろった、普段の給食以上に美味しいスペシャルメニューとなります。誕生児のお友だちは、ピカピカのかっこいい冠をかぶり、みんなからお祝いしてもらって、楽しく食事をしています。季節感があり、子どもたちが喜んで食べられる献立を、栄養士・調理師がアイデアを出し合って考えます。おかわりが空っぽの日は、とてもやりがいを感じます。

おやつには、手作りケーキでお祝いします。「ぼくのたんじょうびは〇月なんだ」と言って自分の誕生会を楽しみに待っている子どもたちのために、毎月のケーキを考えています。子どもたちの好きな果物を使い、トッピングを工夫し、美味しく季節感のあるケーキになるよう、試行錯誤をしています。出来上がったケーキを見て、子どもたちから歓声があがると、給食室でもガッツポーズです。

誕生会メニュー

5 月：筍ご飯、鶏のから揚げ、丘ひじきのお浸し、すまし汁、いちごケーキ：こいのぼりケーキ



8 月：ピピン丼、春雨スープ、ぶどうケーキ：カルピスゼリー



10 月：ナポリタン、グラタン、チキンナゲット、ブロッコリー、コンソメスープ、ぶどうケーキ：かぼちゃのケーキ



2 月：鬼ランチ、星のハンバーグ、ブロッコリー、大豆のスープ、いよかんゼリーケーキ：ココアケーキ



「くぼさん、いっしょにあそぼうよ〜」

東部保育園の主任、窪泰晋（くぼひろあき）さん。事務の仕事はもちろんのこと、園内外の整備をして、子どもたちが過ごしやすいように環境を整えてくれます。

子どもたちは窪さんが大好き！赤ちゃんから幼児さんまで、満足するまでたっぷり遊んでくれます。そして、いつも子どもたちの表情豊かな魅力的な写真を撮ってくれます。

写真を撮るときのポイント

できるだけ自然な表情を撮るようにしています。園での子どもたちの感情豊かなイイ表情を残すようにしています。保護者の皆様を始め、外部の方にも東部保育園の子どもたちが健やかに成長している姿を見て頂きたいと思っています。

東部保育園の子どもたちの好きな所

元気で明るいみんなが大好きです。事務室からだと「くぼさん」と集まってきて沢山お話をしたり一緒に遊んだりしてくれるところ、帰る時には玄関から声を掛けてくれたり、手を振ってくれる優しい所も大好きです。



みんなのもうひとつのおうち

興道東部保育園
米沢市下花沢3丁目10番9号
TEL 0238-23-6624



ブログ更新中

No.19
2018.3.1



園長のつぶやき

ゆったりとした園舎内外の環境の中、保育に携わることから新しい活力を載せて毎日を送れることはうれしい限りです。保育者共々に尽きます。東部保育園は、「みんなのもう一つのお家」として子どもたちが居心地の良い和やかな雰囲気の中で過ごしているよう、日々取り組んでおりますがどうだったでしょうか？何かあれば遠慮なく発信して頂ければ幸いです。

仏教に「同事」ということばがあります。これは、相手と同じ気持ちになり、相手の身になって同じ心になることです。子どもと同じ気持ち・同じ心になって考え行動してあげれば、子どもが持つ不安感や不信感を取り除くことができ、子どもがのびのびと健全に過ごしていけるのではないのでしょうか。それには、人間として生まれて来ることができて、この大自然の中で生きて生かされていることに気づき感謝することが大事だと心得ます。このことを踏まえて、「ありがとう」という感謝の気持ちを持って、毎日の保育に活かしていきたいと思っています。

これから、目まぐるしく複雑多岐になっていく社会の中で、人間の心と心の繋がりが益々重要になってきています。そのことを大事にしなが、一人一人の子どもに健やかな成長の支えになるように皆さんで明るく楽しく元気に取り組んでいきますよ。よろしくお願ひ申し上げます。

園長 菊池道喜

編集後記

保育園では、子どもたちの食への関心や意欲を育むことを大切にしています。今回は、食育をテーマに取り上げて、食べることの嬉しさ、作って食べることを楽しさを掲載しました。子どもたちの生き生きとした姿をご覧いただきたいと思います。情報誌の発行にあたり、原稿、写真などでご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。



いただきま〜す！ 食べて育む ころとからだ

食欲は、さまざまな意欲につながります。おいしく食べる、楽しく食べることを通して、いろいろなことに挑戦する元気な体と気持ちを育てたいと思います。

「たべるのだいすき！もぐもぐ！ごっくん！」

大人とのあたたかいかかわりのなか、一人ひとりの育ちに合わせた調理形態で離乳食を食べています。保育参加では、食事の様子や、どのような味付けで食べているのかが見られました。自分で食べたい気持ちも育ち、食べさせてもらうことを嫌がったり、自分で食べものをつまんだり、スプーンに興味をもって使おうとしたりしています。安心できる雰囲気の中で、食べる意欲が育つようにかかわり、毎日の食事をおいしく楽しく食べているこめ組の子どもたちです。



こめ組
(0歳児)

「おいしいってうれしい」



「自分で食べたい！」気持ちがいっぱい！1歳児うめ組。一人ひとりに応じてスプーンの持ち方を知らせながら、「自分で食べる喜び」を感じられるようにかかわっています。言葉も始め、友だちとテーブルを囲みながら「おいしいね」「にんじんだよ」と楽しい雰囲気の中で喜んで食べています。

季節のおいしい食材を実際に見て触れて食べて…五感を使って一層おいしく味わっています。



うめ組
(1歳児)



「ひとりでごはんもはこべるよ」

もう少しすると、幼児組の仲間入りをするもも組の子どもたち。少しずつできることが増えて、すっかりお兄ちゃん・お姉ちゃんらしくなってきました。ランチルームでは幼児さんと同じように自分で食器をトレイにのせて運びます。こぼさないようにバランスを取りながら運ぶ顔はとっても真剣。自分で運んだご飯は一段とおいしく感じます。「いただきま〜す」「おいしいね」とニコニコ笑顔で食べています。



もも組
(2歳児)

「みんなでたべるっておいし〜い!!」~いつもの昼食風景~

子どもたちがテーブルを拭き、お花を飾ってくれてランチルームの準備が整うと、楽しい昼食の時間の始まりです。あそびのくずりがつくと、仲良しのお友だちと誘い合ってランチルームに向かいます。時には縦割りグループで、時にはクラスのお友だちと…。職員も一緒に楽しくおしゃべりしながら食べています。そこでは、年下の子の面倒を見る思いやりの気持ちが見られたり、年上の子の真似をして苦手な食材に挑戦しようという気持ちが芽生えたりといった、心の育ちも見られます。今日もランチルームには「おいしいね!」と元気な声と笑顔が広がっています。



幼児組
(3・4・5歳児)

「おいしい野菜になあれ！」



今年も宮澤さんに教えてもらいながら畑で野菜を育てました。芽が出るのを楽しみにやさしく水をあげました。きゅうり、枝豆、じゃがいも、さつまいも、里芋、大根…。給食に採れた野菜が出ると「これとってきた野菜だね!」と嬉しそう。宮澤さんにも「甘くておいしいじゃがいもになったね。」とほめられてうれしそうなお子もたち。自分たちで大切に育てた野菜をみんなで一緒に食べるとよりおいしく感じます。



「自分で作るって格別だね♪」

畑で採れた「じゃがいも」を使って「ポテトサラダ作り」に挑戦したゆり組。調理で使うピーラーと包丁は「お家で練習してきたよ」とやる気満々!「じゃがいもはこう押さえるんだよね」「ねこのて、ねこのて」と友だちと確認しながら、楽しんで作りました。出来上がったポテトサラダを見て「ぜったい、おいしいから大盛りにしよう」と満面の笑顔。他のクラスの友だちや職員に「すごかった!」と褒められ、おいしさも喜びも倍増でした。



「はやく食べたいな」

縦割りグループに分かれて干し柿作りをしました。ゆり組がピーラーで柿の皮をむき、すみれ・たんぼ組は紐を裂いて柿を付けました。たんぼ組は初めての経験で「できない」「難しい」という声もありましたが、ゆり・すみれ組の子たちが紐を裂いてくれたり、一緒に柿を紐に付けてくれたりと優しく教えてくれました。みんなで協力して作った干し柿はとっても上手に出来上がり、柔らかくて甘いやさしい味がしました。

